

# ビッグスロットルボディーキット (φ 34) 取扱説明書

製品番号 03-05-0154

適応車種	Z125 PRO (BR125H-A02621 ~ A16470)
適応条件	Super Head+R 装着車

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。  
使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。  
万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

## ☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

- ◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。
- ◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。
- ◎当製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
- ◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
- ◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用部品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
- ◎取り付けの際には、工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書や純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼される事をお勧め致します。
- ◎ボルト、ナットは再使用しますが、摩耗、損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
- ◎このパーツはクローズド競技用として開発した製品ですので、一般公道では使用しないで下さい。一般公道で使用する場合は、必ず道路運送車両法の保安基準を充たし、遵法運転を心掛けて下さい。  
(道路運送車両法の保安基準を充たさない車両で公道を走行すると、違反となり運転者が罰せられます。)
- ◎ Super Head+R、ビッグスロットルボディーに対応したFI コンTYPE-X(インジェクションコントローラー)の別途購入が必要になります。

**注意** この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

- 作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジン及びマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)
- 作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)
- 規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルト及びナットの破損、脱落の原因となります。)
- 製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)
- 走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。  
(部品の脱落の原因となります。)
- ガスケット、パッキン類は、必ず新品部品を使用して下さい。また、再使用する部品については、よく点検し摩耗や損傷がある場合は、必ず新品部品と交換して下さい。
- エンジンの回転中は、スロットルボディー吸気管内を不用意に覗き込まないで下さい。(火炎が噴射する事があり、大変危険です。)

**警告** この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。  
(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)
- 走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)
- 作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)
- 点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。  
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)
- 点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。(事故につながる恐れがあります。)
- ガソリンは、非常に引火しやすい為、一切の火気を避け燃えやすい物が周りに無い事を確認して下さい。又、気化したガソリンの滞留は、爆発等の危険性がある為、通気の良い場所で作業を行ってください。
- 製品梱包のビニール袋は、幼児の手の届かない所に保管するか、廃棄処分して下さい。(幼児がかぶったりすると、窒息の恐れがあります。)

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。  
但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。  
なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。
- ◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東3-5-16  
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>



番号	部品名	個数	リペア品番
1	スロットルボディ 34mm ASSY.	1	
2	インレットパイプ	1	
3	エアフィルター COMP.	1	00-00-1511
4	シュラウドステー COMP.	1	
5	Oリング 42mm	1	00-02-0405
6	Oリング 29mm	1	00-02-0406
7	アルミワッシャ 6.5x11x1	2	00-02-0095 (20ヶ入り)
8	ホースクランプ (9.5)	2	00-00-0216 (4ヶ入り)
9	ホースコネクター	1	00-00-0220
10	ユニオン M6	1	00-03-0411
11	ソケットキャップスクリュー 6x6	1	00-00-0707 (5ヶ入り)
12	ソケットキャップスクリュー 6x18	1	00-00-0720 (5ヶ入り)
13	ソケットキャップスクリュー 6x20	2	00-00-0721 (5ヶ入り)
14	六角ナット M6	1	00-00-0128 (10ヶ入り)
15	チューブ 5x200	1	00-07-0073 (長さ 500mm)
16	フューエルインジェクタ ASSY.	1	00-03-0302
17	シール	1	00-03-0303
18	スタッドボルト M6x32	1	00-01-0073 (2ヶ入り)

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。  
 品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。  
 尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいませ  
 様お願い致します。

■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

■はじめに

作業は水平で安全な場所で、メンテナンススタンドをかけるなどして、車両をしっかりと安定させてから開始して下さい。

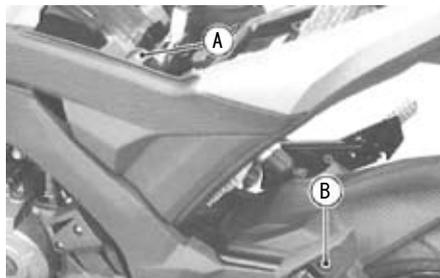
⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。

本取説での外装部品取り外し作業内容は、詳細を省略した概要のみを記しております。

外装取り外し作業に不慣れな方は、販売店等に作業を依頼するか、必ずメーカー純正サービスマニュアルの作業手順・締め付けトルクの指示に従い作業を行って下さい。また外装類の脱着時、爪部分や溝部分を破損しないように、注意深く作業を行って下さい。

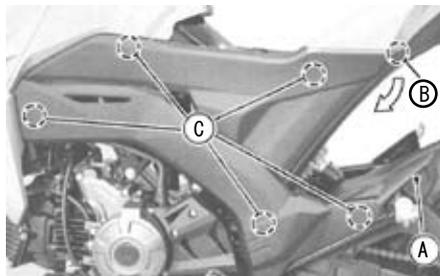
●サイド/フレームカバーの取り外し

○シートを取り外しスクリュー [A]、ボルト [B] を取り外します。

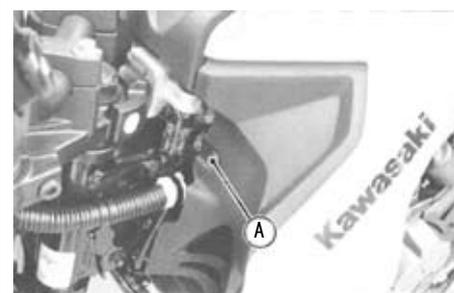


○サイド/フレームカバー [A] のフック [B] を外側に引いて外します。

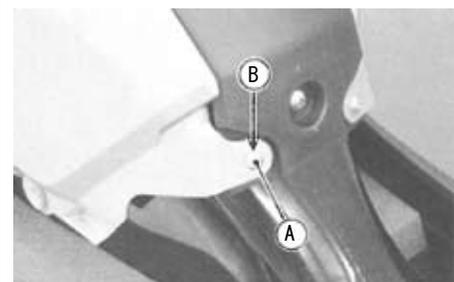
○サイド/フレームカバーを外側に引いて突起 [C] を外します。



○クイックリベット [A] を取り外します。

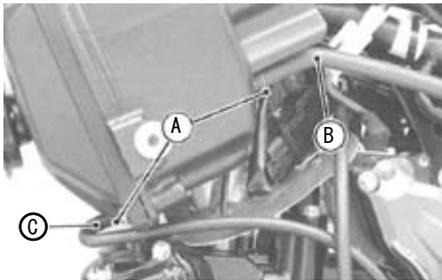


○スクリュー [A]、ワッシャ [B] を取り外します。

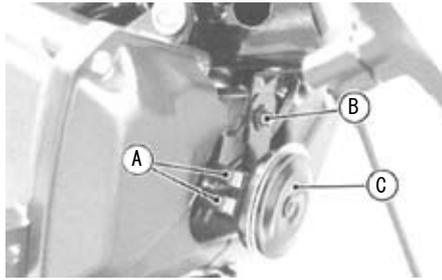


### ●エアクリーナーハウジングの取り外し

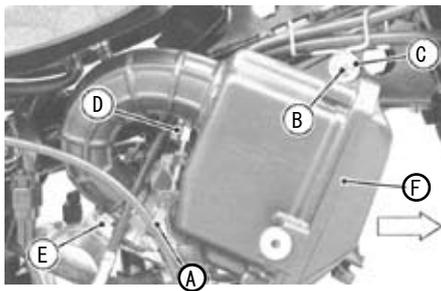
○クランプ [A] をずらしブリーザーホース [B]、ドレンホース [C] を外します。



○ホーンリード線コネクタ [A] を外し、ボルト [B]、ホーン [C] を取り外します。

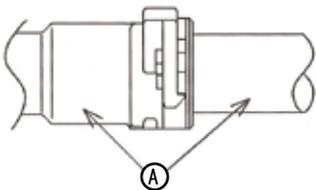


○クランプ [A]、取り付けスクリュー [B] (両側)、ワッシャ [C]、取り付けスクリュー [D]、スクリュー [E] を取り外し、エアクリーナーハウジング [F] を前側へ取り外します。

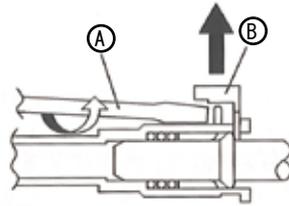


### ●スロットルボディの取り外し

○燃料ホースジョイントの周りに布を置き接続部周辺 [A] の汚れを拭き取ります。

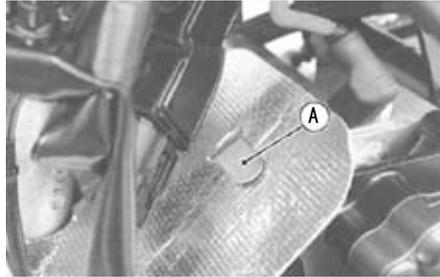


○マイナスドライバー [A] をジョイントロック [B] の溝に差し込みドライバーを回して、ジョイントロックを外します。

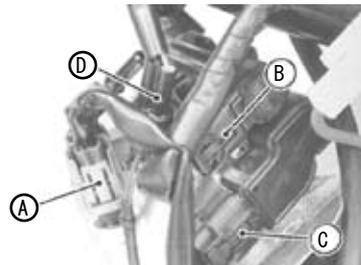


○パイプをビニール袋等で覆って汚れの付着を防いで下さい。

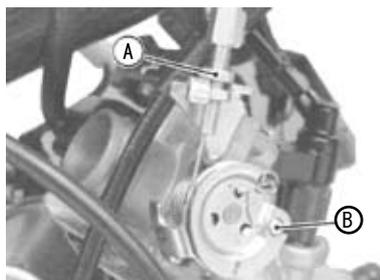
○クランプ [A] を曲げ戻します。



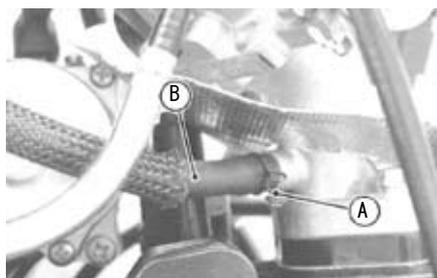
○燃料インジェクタコネクタ [A]、アイドルスピードコントロールバルブアクチュエーターコネクタ [B]、スロットルボディアシセンサコネクタ [C]、エンジン温度センサーリード線コネクタ [D] を取り外します。



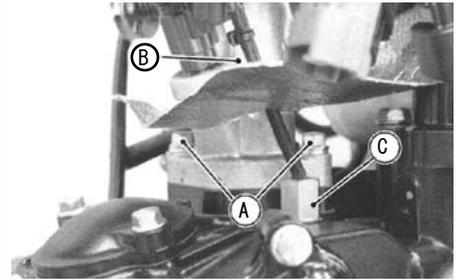
○ロックナット [A] を緩め、スロットルケーブル下端 [B] を取り外します。



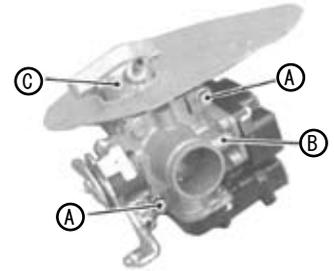
○クランプ [A] をずらしホース [B] を外します。



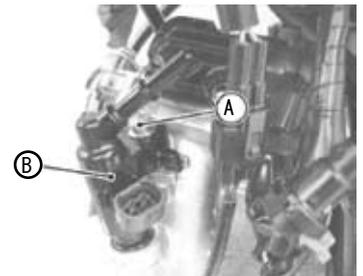
○ボルト [A] 及びワッシャを取り外しスロットルボディアシセンサ [B]、エンジン温度センサー [C] を取り外します。



○ボルト [A] を取り外しスロットルボディアシセンサ [B] とインテークパイプ [C] を分離します。



○ボルト [A] を取り外しデリバパイプと燃料インジェクターを取り外します。



○⑩インジェクターの両端のキャップを外し、シールを取り付けます。

▲注意：インジェクターの噴射部のフィルター（12個の小さい穴が開いている箇所）は絶対に取り外さないで下さい。インジェクターが損傷します。



■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

●スロットルボディー、インレットパイプの組み立て、取り付け

◎ここから先は、Super Head+R ボアアップキットが組み込まれている事を前提としています。

※デリバリパイプの突起をインレットパイプの溝に合わせて締め付けて下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
突起  
トルク：5.2N・m (0.53kgf・m)



○⑦アルミワッシャ、⑩ユニオンを取り付け規定トルクで締め付けます。  
※ネジ部には中強度ネジロック剤を塗布して下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
ユニオン  
トルク：6.0N・m (0.6kgf・m)

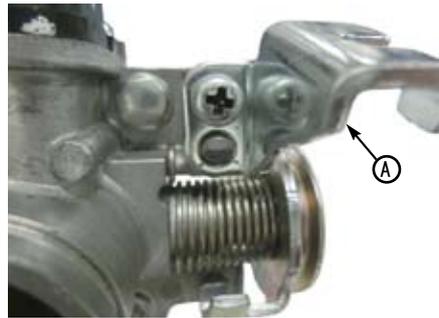


※クローズド競技用でチャコールキャニスターを取り外した場合、⑪ソケットキャップスクリュー6×6を用いてインレットパイプのユニオンをブラインドします。

○ノーマルのスロットルボディーからアイドルスピードコントロールバルブアクチュエータ [A]、スロットルボディーアッシセンサー [B]、各Oリングを取り外します。



○ノーマルのスロットルボディーからスロットルケーブルレシーバー [A] を取り外します。



○①スロットルボディーに逆手順で各Oリング、アイドルスピードコントロールバルブアクチュエータ [A]、スロットルボディーアッシセンサー [B]、スロットルケーブルレシーバー [C] を組み付けます。



○①スロットルボディーに⑤Oリング42mmを取り付けます。



○⑬スクリュー6x20を使用し、スロットルボディーにインレットパイプを取り付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
スクリュー6x20  
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



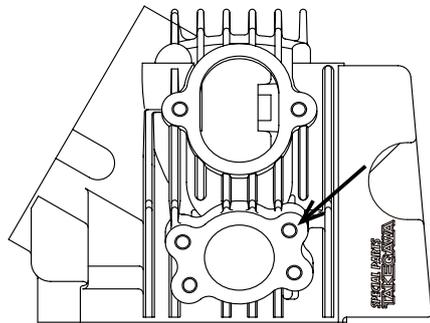
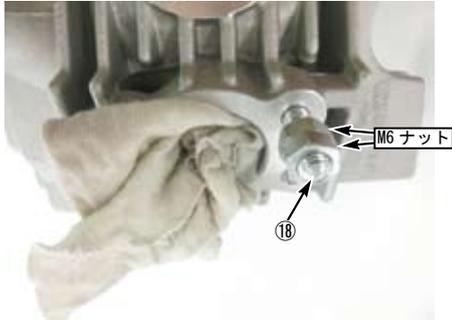
○インレットパイプにキット付属の⑥Oリング29mmを取り付けます。



■取り付け要領 ※特に記載の無い細部の取り付け方法や規定トルクにつきましては、純正サービスマニュアルを参照して下さい。

○シリンダーヘッドの画像の位置に⑮スタッドボルトを取り付けます。  
手持ちの M6 ナット等を利用し規定トルクで締め付けて下さい。  
※スタッドボルトはネジ部が短い方をシリンダーヘッドに取り付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
スタッドボルト  
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

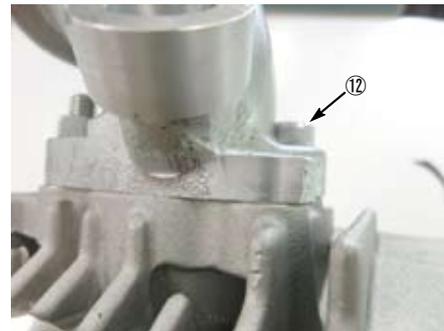


○②インレットパイプに⑥Oリングが取り付けられている事を確認し、インレットパイプをシリンダーヘッドに取り付けます。  
画像を参考にインレットパイプが画像の位置で⑭ナットを取り付け、ナットを締め込みながらインレットパイプをヘッドに合わせる方向へ移動させて下さい。



○⑬スクリュー 6x18 を使用し、インレットパイプを取り付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
スクリュー 6x18  
M6 ナット  
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



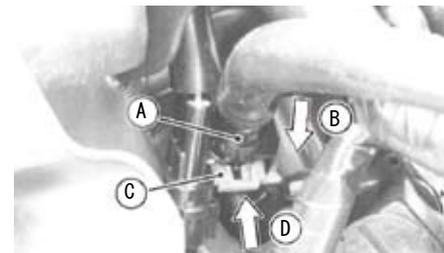
○ノーマルヘッドから取り外したエンジン温度センサーを取り付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。  
エンジン温度センサー  
トルク：9.8N・m (1.0kgf・m)

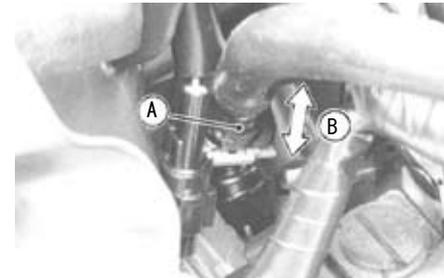


○取り外しの逆手順でアイドルスピードコントロールバルブアクチュエータ、スロットルボディアシセンサー、エンジン温度センサーのカブラを接続します。

○燃料ホースジョイント [A] をデリバリパイプにまっすぐ挿入します。[B] ジョイントロック [C] をホースジョイントがカチッと入るまで押します。[D]



○燃料ホースジョイント [A] を2回以上押し引きしたり引いたりし [B] 確実にロックが効いている事を確認して下さい。



⚠注意：燃料ホースジョイントを押し引きしたりする際にはノズルアッシュのデリバリパイプに力をかけ過ぎないようにして下さい。パイプは樹脂製なので損傷する可能性があります。  
⚠警告：燃料は非常に引火性が強く、一定の条件下では火災や爆発の危険性があります。燃料を取り扱う時、あるいは給油する時は必ずエンジンを停止し火気厳禁で行って下さい。

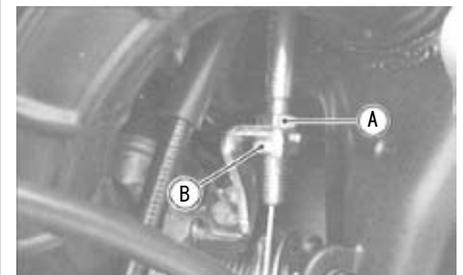
○スロットルケーブルにクランプを通しておきます。



○スロットルケーブルを取り付けます。



○スロットルケーブルの遊びの調整を行います。アッパナット [A] を緩めロアナット [B] を回してスロットルグリップの遊びを2～3mmに調整し、アッパナットを締め付けます。ハンドルを左右いっぱい切りアイドリング回転数が変化しない事を確認します。



### ●エアフィルターの取り付け

○③エアフィルターを取り付けます。



○弊社製オイルキャッチタンクを併用しない場合、ノーマルのクランクケースブリーザーホースを適宜切断し、⑨ホースコネクター、⑮チューブ5x200、⑧ホースクランプを使用し③エアフィルターと接続します。

○弊社製オイルキャッチタンクと接続する場合は、オイルキャッチタンクの取扱説明書を参考に各ホースを接続して下さい。



○ノーマルクラッチカバーをご使用の場合、エアフィルターとクラッチケーブルが干渉する為、画像を参考に取り回しを変更して下さい。



○ハンドルを左右いっばいに切りクラッチの動作に影響が無い事を確認します。

### ●シュラウドステーの取り付け

○純正ボルトを用いて④シュラウドステーを取り付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
純正ボルト  
トルク：5.2N・m (0.53kgf・m)



○ホーンの位置は画像を参考にして下さい。



○ワッシャ、クランプ、ボルトの順で取り付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。  
ボルト  
トルク：5.2N・m (0.53kgf・m)



### ●サイド/フレームカバーの取り付け

○取り外しの逆手順でサイド/フレームカバーを取り付けます。

### ●スロットルセンサーポジションデータのリセットおよび登録

スロットルセンサーポジションデータのリセット及び登録を行います。  
各項目の記号は黄色エンジン警告灯(LED)の状態を表しています。

- ：点灯
- ：点滅
- ：消灯

1. イグニッションスイッチをOFFにします。●
  2. 自己診断端子を手持ちのリード線を用いてフレームにアースします。●
- ※リード線はキットに含まれませんので各自用意下さい。



3. スロットルグリップを全開位置にします。●
  4. スロットルグリップが全開位置のまま、イグニッションスイッチをONにします。□
  5. 5秒間待ちます。□
  6. スロットルグリップを全閉位置にします。□
  7. 5秒間待ちます。
  8. 黄色エンジン警告灯(LED)が点灯するとスロットルポジションセンサのリセットが完了です。○
- ※黄色エンジン警告灯(LED)が点滅する場合はリセットに失敗していますので再度1から作業を行って下さい。
10. イグニッションスイッチをOFFにします。●
  11. 自己診断端子をアースから外します。●
  - ※スロットルグリップは操作しないで下さい。
  12. イグニッションスイッチをONにします。○
  13. 5秒間待ちます。○
  14. イグニッションスイッチをOFFにします。●
  15. 5秒間待ちます。●

以上で終了です。

### ●FIコン TYPE-Xの取り付け

FIコン TYPE-Xの取り扱い説明書に従いFIコン TYPE-Xを取り付けます。

エンジンを始動し、十分に暖気を行いアイドル回転数を標準値に調整します。  
標準値 1800 ± 50 rpm

標準値から外れる場合はスロットルボディ下部のナットを緩め、ボルトを回し調整します。  
※緩め方向1/2回転以上、締め方向1回転以上の調整が必要な場合、周辺部品の不具合が考えられます。カワサキ純正サービスマニュアルを参考に周辺部品の点検を行って下さい。



○各部を点検しボルト、ナットに緩みがないか確認して下さい。